

# ハガイ書

Haggai

旧約聖書

## 第1章

- 1 ダレイオス王の第二年、第六の月の一日に、預言者ハガイを通して、シェアルティエルの子、ユダの総督ゼルバベルと、エホツァダクの子、大祭司ヨシュアに、主のことばがあった。
- 2 万軍の主はこう言われる。「この民は『時はまだ来ていない。主の宮を建てる時は』と言っている。」
- 3 すると預言者ハガイを通して、次のような主のことばがあった。
- 4 「この宮が廃墟となっているのに、あなたがただけが板張りの家に住む時だろうか。」
- 5 今、万軍の主はこう言われる。「あなたがたの歩みをよく考えよ。
- 6 多くの種を蒔いても収穫はわずか。食べても満ち足りることがなく、飲んでも酔うことがなく、衣を着ても温まることがない。金を稼ぐ者が稼いでも、穴の開いた袋に入れるだけ。」
- 7 万軍の主はこう言われる。「あなたがたの歩みをよく考えよ。
- 8 山に登り、木を運んで来て、宮を建てよ。そうすれば、わたしはそれを喜び、栄光を現す。—主は言われる—
- 9 あなたがたは多くを期待したが、見よ、得た物はわずか。あなたがたが家に持ち帰ったとき、わたしはそれを吹き飛ばした。それはなぜか。—万軍の主のことば—それは、廃墟となったわたしの宮のためだ。あなたがたがそれぞれ、自分の家のために走り回っていたからだ。
- 10 それゆえ、あなたがたゆえに、天は露を滴らすのをやめ、地はその産物を出すのをやめた。
- 11 わたしはまた、日照りを呼び寄せた。地にも山々にも、穀物にも新しいぶどう酒にも油にも、地が産み出す物にも、また人にも家畜にも、手によるすべての労苦の実にも。」
- 12 シェアルティエルの子ゼルバベルと、エホツァダクの子、大祭司ヨシュアと、民の残りの者すべては、彼らの神、主が預言者ハガイを遣わされたとき、彼らの神、主の御声と、ハガイのことばに聞き従った。民は主の前で恐れた。
- 13 主の使者ハガイは主の使命を受けて、民にこう言った。「わたしは、あなたがたとともにいる—主のことば。」
- 14 主が、シェアルティエルの子、ユダの総督ゼルバベルの霊と、エホツァダクの子、大祭司ヨシュアの霊と、民の残りの者すべての霊を奮い立たせたので、彼らは自分たちの神、万軍の主の宮に行き、仕事に取りかかった。
- 15 それは第六の月の二十四日のことであった。ダレイオス王の第二年、

## 第2章

- 1 第七の月の二十一日に、預言者ハガイを通して、次のような主のことばがあった。
- 2 「シェアルティエルの子、ユダの総督ゼルバベルと、エホツァダクの子、大祭司ヨシュアと、民の残りの者に次のように言え。
- 3 『あなたがたの中で、かつての栄光に輝くこの宮を見たことがある、生き残りの者はだれか。あなたがたは今、これをどう見ているのか。あなたがたの目には、まるで無いに等しいのではないか。
- 4 しかし今、ゼルバベルよ、強くあれ。—主のことば—エホツァダクの子、大祭司ヨシュアよ、強くあれ。この国のすべての民よ、強くあれ。—主のことば—仕事に取りかかれ。わ

わたしがあなたがたとともにいるからだ。一万軍の主のことば—

- 5 あなたがたがエジプトから出て来たとき、わたしがあなたがたと結んだ約束により、わたしの霊はあなたがたの間にとどまっている。恐れるな。』
- 6 まことに、万軍の主はこう言われる。『間もなく、もう一度、わたしは天と地、海と陸を揺り動かす。
- 7 わたしはすべての国々を揺り動かす。すべての国々の宝物がもたらされ、わたしはこの宮を栄光で満たす。一万軍の主は言われる—
- 8 銀はわたしのもの。金もわたしのもの。一万軍の主のことば—
- 9 この宮のこれから後の栄光は、先のものにまさる。一万軍の主は言われる— この場所にわたしは平和を与える。一万軍の主のことば。』」
- 10 ダレイオスの第二年の第九の月の二十四日、預言者ハガイに次のような主のことばがあった。
- 11 「万軍の主はこう言われる。律法について、祭司たちに尋ねよ。
- 12 人が聖なる肉を自分の衣の裾に入れて運び、その裾がパンや煮物、ぶどう酒や油、またはどんな食物にでも触れた場合、それは聖なるものとなるか。」祭司たちは「否」と答えた。
- 13 そこでハガイは言った。「もし死体によって汚れた人が、これらのどれかに触れたら、それは汚れるか。」祭司たちは「汚れる」と答えた。
- 14 それに応じてハガイは言った。「この民も、この国も、わたしにとってはそれと同じ。—主のことば— 彼らの手が作ったすべての物もそれと同じ。そこで彼らが献げる物も汚れている。
- 15 さあ今、あなたがたは、今日から後のことをよく考えよ。主の神殿で石が積み重ねられる前、
- 16 あなたがたはどうであったか。二十の麦束が積んであるところに行っても、あるのは十束。ぶどう酒五十杯を汲もうと石がめに行っても、あるのは二十杯。
- 17 わたしはあなたがたを、あなたがたの手が作ったすべての物を、立ち枯れと黒穂病と雹で打った。しかし、だれ一人わたしに帰って来なかった。—主のことば—
- 18 さあ、あなたがたは今日から後のことをよく考えよ。第九の月の二十四日、主の神殿の基が据えられた日から後のことをよく考えよ。
- 19 種はまだ穀物倉にあるのか。ぶどうの木、いちじくの木、ざくろの木、オリーブの木は、まだ実を結ばないのか。今日から後、わたしは祝福する。」
- 20 その月の二十四日、ハガイに再び次のような主のことばがあった。
- 21 「ユダの総督ゼルバベルに次のように言え。『わたしは天と地を揺り動かし、
- 22 もろもろの王国の王座を倒し、異邦の民の王国の力を滅ぼし尽くし、戦車とその乗り手をくつがえす。馬とその乗り手は味方の剣によって倒れる。
- 23 その日、一万軍の主のことば— シェアルティエルの子、わたしのしもべゼルバベルよ、—主のことば— わたしはあなたを選んで印章とする。わたしがあなたを選んだからだ。一万軍の主のことば。』」